

計測分科会誌 Vol.4, No.1, 1996

○巻頭言

「単位を変えないで」

西谷 源展

○第7回計測分科会

日時：平成8年4月1日(月) 16:00~19:30

場所：国立国際会議場402会議室(横浜市)

・特別講演

「非電離放射線の防護と計測」

加藤 和明

・討論会Ⅰ テーマ：「X線CTの被曝線量は如何に測定すべきか：PartⅡ」

とりあえず作ろう共通の定規

司会 西谷 源展

1. CT撮像線量測定法の現況：

現在のCT線量測定法(CTDI)等の測定法の解説と測定結果および問題点等

村松 禎久

2. CT撮像線量測定法における線量計の問題点：

CT撮像線量測定時に線量計の特性がもたらす誤差要因(線質特性等)の検討

小山 修二

3. CTにおけるスライス面外散乱線について：

スライス面外の散乱線分布の詳細(Film法)および線量計としてのfilmのエネルギー特性等

大久 敏弘

4. 94年度CT撮像線量実態調査からの現況ならびに測定法の具体的提案等

片倉 俊彦

5. コメンテーター

CT線量評価に関する共通の定規の必要性について

古賀 佑彦

・討論会Ⅱ テーマ：「乳房撮影領域X線の照射線量測定精度標準化に関する全国調査」の結果報告

前越 久

○トピックス

「液体シンチレーションカウンターによる表面汚染密度の測定」

西沢 邦秀

○乳房撮影領域X線の照射線量測定精度標準化に関する全国調査

○診断領域X線の実効エネルギーと吸収線量の求め方 その2

○文献紹介

○会員名簿(50音順)

○編集後記